

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報

第7号

果樹

発行日 平成22年 9月30日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

◆ りんご中生種の適期収穫・すぐりもぎを徹底しましょう！！

りんご

1 生育状況

(1) 果実肥大

定点観測地点(表1)の果実肥大(横径)を県平均で見ると、平年並となり、開花の遅れを取り戻しています。

表1 県内の定点観測ほ場における果実肥大(横径)状況(9月21日現在)

単位(mm)

市町村	地区	ジョナゴールド					ふじ				
		本年(H22)	前年(H21)	平年	前年比(%)	平年比(%)	本年(H22)	前年(H21)	平年	前年比(%)	平年比(%)
岩手県農業研究センター		89.8	87.3	90.7	103	99	81.7	86.0	84.3	95	97
岩手町	一方井	88.2	87.5	90.1	101	98	88.8	85.8	83.1	103	107
盛岡市	三ツ割	87.7	89.1	89.2	98	98	82.8	83.4	82.9	99	100
紫波町	長岡	90.1	93.2	91.1	97	99	84.4	88.8	85.6	95	99
花巻市	中根子	94.9	92.3	89.6	103	106	81.4	87.8	81.8	93	100
北上市	立花	89.4	94.4	92.7	95	96	85.2	89.9	86.0	95	99
奥州市	前沢区稲置	89.6	86.7	88.8	103	101	85.7	84.5	85.3	101	100
	江刺区伊手	86.9	88.8	90.1	98	96	81.1	82.2	81.8	99	99
一関市	花泉町金沢	88.3	90.1	88.8	98	99	80.0	84.7	81.7	94	98
	大東町大原	88.0	89.8	87.2	98	101	84.2	87.5	83.4	96	101
陸前高田市	米崎	86.3	84.8	88.1	102	98	77.9	82.2	82.8	95	94
宮古市	崎山	88.3	93.1	92.1	95	96	84.0	88.3	84.6	95	99
岩泉町	乙茂	93.6	92.0	85.2	102	110	81.1	93.6	84.3	87	96
洋野町	大野下長根	88.0	90.8	88.4	97	100	83.1	82.1	81.5	101	102
軽米町	高家		88.3	90.3				84.4	80.0		
二戸市	金田一		88.4	91.3				88.4	85.0		
県平均値(参考)		89.2	90.0	89.5	99	100	83.1	86.2	83.3	96	100

※県平均値に農研センターのデータは含まれていない

(2) 果実品質

「ジョナゴールド」の果実品質は、硬度が平年より高いものの、糖度やデンプン反応はほぼ平年となっており、開花の遅れほど熟度は遅れていない状況です(図1~3)。早生品種は猛暑の影響により、着色が進まず収穫の遅れがみられました。10月の気温は高く推移すると長期予報になっています。今後の気象によって、着色、熟度の進みが変化することがありますので、適切な管理、適期収穫を心がけましょう。

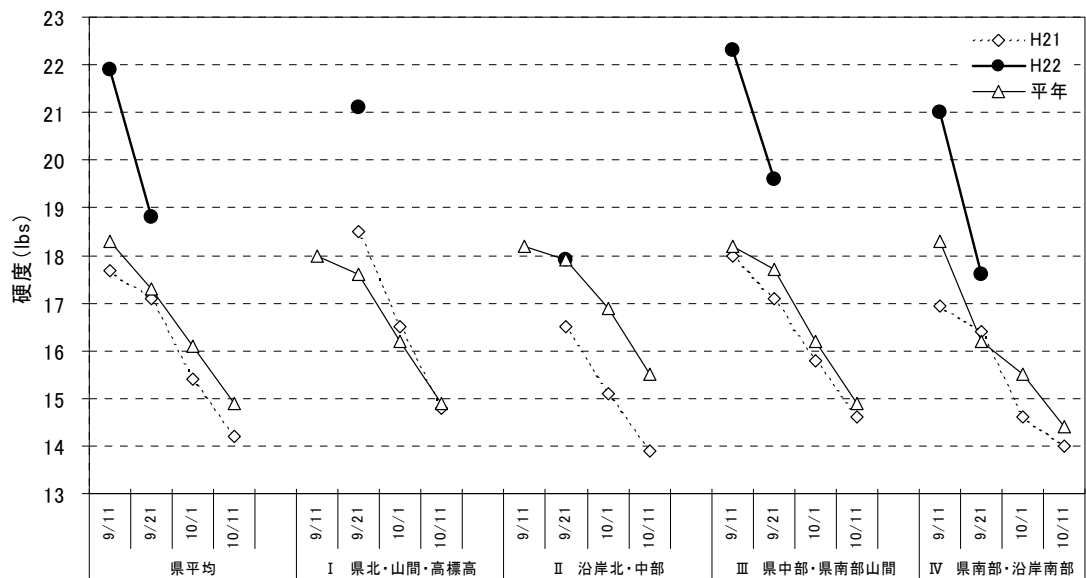


図1 ジョナの硬度の経時変化

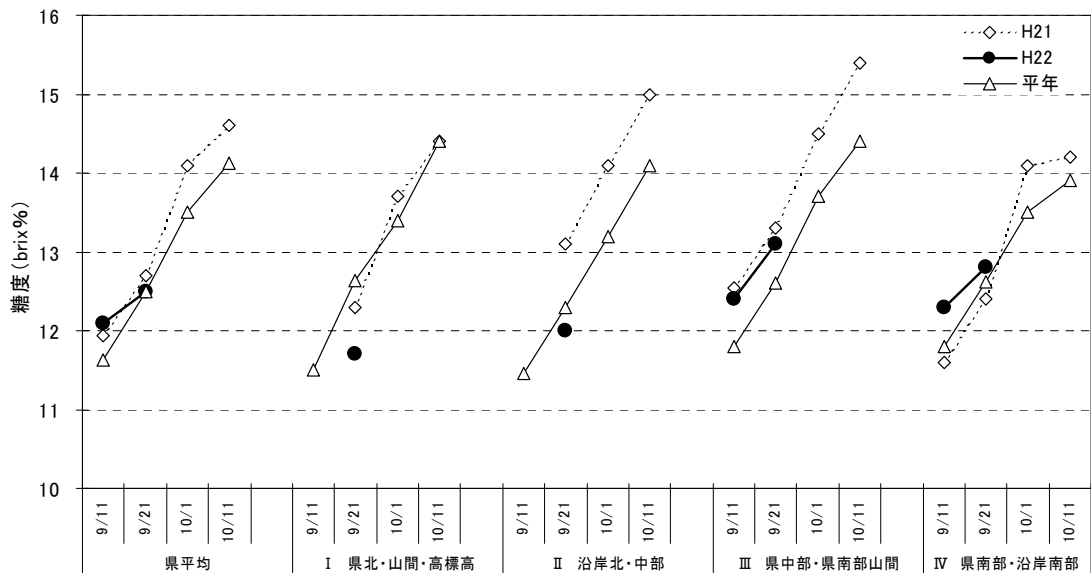


図2 ジョナの糖度の経時変化

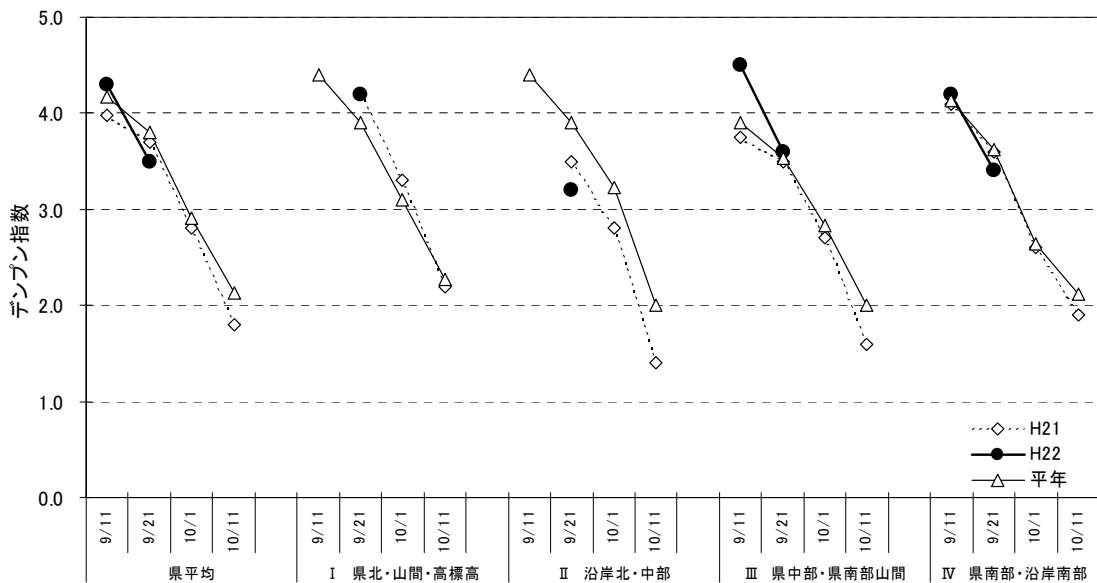


図3 ジョナのデンプン指数の経時変化

2 管理作業

(1) 中生種の管理

- ア 「ジョナゴールド」などの着色管理は、1回目の軽い葉摘み終了後、陽光面の着色が進んでから、葉や枝カゲをつくらないように玉回しを収穫まで2～3回行います。玉まわしと同時に適当な強さに葉を摘みます。
- イ りんごの着色適温は15～20℃です。気温の高い日が続くと、必要以上に葉摘みを強くしても着色は進まないため、過度の葉摘みとならないよう注意します。
- ウ 「ジョナゴールド」については、着色が不揃いとなりやすいので、徹底したすぐりもぎを行い、収穫と同時に葉摘み、玉回し等着色管理を進めます。
- エ 収穫が遅れると果肉の軟化、果皮の油上がりが発生して、販売上不利になりますので、適期収穫を心がけましょう（表2）。

(2) 「ふじ」の着色管理

- ア 「ふじ」は、着色期間が30～40日間と長いため、陽光面が着色してきた頃（9月下旬～10月上旬）と10月中～下旬の2回に分けて葉摘みを行います。1回目の葉摘みは、果実に密着する葉を摘む程度とし、2回目は適当な強さまで葉を摘み、陽光面の着色が進んできたから葉や枝カゲを残さないよう玉回しを行います。
- イ 過度の葉摘みは、葉が少なくなり果実の着色やみつ入りが劣る、翌年の花芽の充実が悪くなるなどマイナスの影響が出ますので注意してください（表3）。

表2 中・晩生種の収穫開始期の目安

品種	満開後 起算日数	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)
ジョナゴールド	145～155日	13以上	13以上
王林	160～170日	14以上	14以上
ふじ	165～180日	14以上	14以上

表3 「ふじ」の摘葉が果実品質に及ぼす影響(青森りんご試)

処理区分	果周の 増加量 (mm)	糖度 (%)	みつの 発生(%)	着色	翌年の開 花率(%)
全葉の摘葉	0.74	13.6	0	3	25.0
新しょう葉摘葉	3.60	14.5	31	3	58.4
果そう葉摘葉	6.85	14.9	77	4	65.1
無処理	7.40	14.9	86	4	66.6

- (摘要)1 摘葉処理は10月3日～10日に行う。
- 2 果周増加は10月11日～11月11日までの分である。

(3) 「シナノゴールド」の適期収穫について

- ア 「シナノゴールド」の収穫適期の目安は表4のとおりです。収穫にあたっては、カラーチャート及び満開起算日数と内部品質の収穫適期判定基準を参考にしながら総合的に判断してください。
- イ なお、表面色は「きおう」カラーチャートを用いて果面の比色をしますが、「シナノゴールド」は陽光面と陰光面で着色に差があるため、比色する部位を陰光面とし、測定時は直射日光下を避け、比較的明るい所で行います（図4）。
- ウ 果面にワックスが出ていない状態では未熟な食味ですが、ワックスを感じられるようになると食味が良好になります。「シナノゴールド」は果皮にワックスが若干感じられる時期も収穫の目安です。特に、県北・高標高地などでは酸含有量が高くなる傾向があるので、食味の確認を併せた収穫期の判断が重要です。

表4 シナノゴールドの収穫適期判断基準

表面色 カラーチャート指数	満開日 起算日数	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)	デンプン (指数)
指数6以上	170日以上	15程度	15.0以上	0.45前後	1以下

注)指標チャート:「きおう」カラーチャート(表面色)

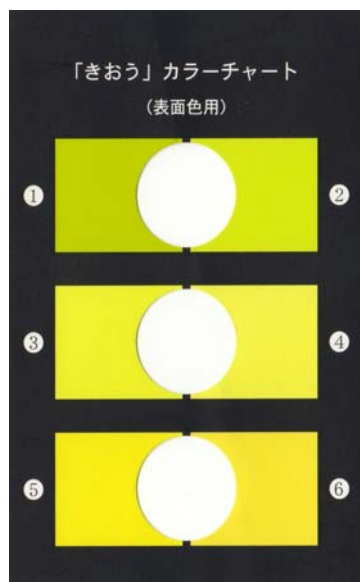


図4 「きおう」カラーチャート
※「シナノゴールド」は陰光面で比色し、指数6以上が
収穫適期の目安となる。

3 気象災害対策

(1) 台風対策

10月についても、まだまだ台風が多く発生する時期です。強風で倒木が発生しないよう、防風ネットの設置、支柱との結束を確認してください。また、気象情報に注意し、台風の接近前に収穫を進めるなど、被害を最小限にできるよう対策をとってください。

なお、台風通過後の事後対策については、2010年9月7日及び9月24日発行の技術情報号外「台風対策」に掲載していますので、参照してください。

(2) 湿害対策

台風に伴う大雨や秋の長雨など、園地内が過湿となった場合、裂果や根部の障害による樹勢衰弱の要因となります。園地内に水が停滞しないよう、溝を掘るなど排水対策を実施しましょう。

農作物技術情報第8号は10月28日(木)発行の予定です。
気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。
※ 発行時点での最新情報に基づき作成しております。
※ 発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間
農作業 慣れと油断が落とし穴 初心を忘れず 安全第一